

愛媛DMO（地域連携DMO）の役割

3つの視点で地域をつなげる

“テーマ”と
“ストーリー”で
地域をつなげる

各地の団体・事業者が造成する「歴史」「自然」「地酒」「花見・紅葉」「匠・伝統工芸」などを素材とした観光商品や体験コンテンツを、愛媛DMOが統一のテーマのもと組み合わせ、ストーリー性を持った『広域周遊型旅行商品』として造成します。

“人”で
地域をつなげる

東・中・南予毎に配置する愛媛DMOの担当職員が、それぞれの地域に赴き、課題やニーズを共有しながら、“売れる旅行商品”づくりに向け、既存コンテンツの磨き上げや新規商材の開拓を支援するとともに、ガイド養成を始めとした地域観光人材の育成も支援します。

“情報”で
地域をつなげる

オープンデータ
行政のO.Dや携帯位置情報、WEB閲覧データ等から、旅行者（インバウンドを含む）の県内移動や他県からの流入の状況を把握し、年代、性別、嗜好等の分析に基づくデジタルマーケティングにより誘客促進に取り組むとともに、その効果を検証し、地域と共有します。

『チーム愛媛』で
国内外とつながる

愛媛DMOが、地域の観光コンテンツの販売代理店となり、県内各地域と国内・海外をつなげる

- 国内外の旅行商談会や旅行会社訪問において、上記『広域周遊型旅行商品』のセールスに取り組みます。
- 国内外の旅行会社を招聘し各地を巡ることで、地域の旅行商品の販売と既存コンテンツの磨き上げを支援します。
- 愛媛DMOが構築する「旅行商品のネット販売システム」を通じて、各地の体験コンテンツ等の商品販売に取り組みます。（海外OTAも視野）
- 今後、インバウンド誘客の大きな基準となる「持続可能な観光地づくり GSTC-D」の認証取得に向けた地域の取組みを支援します。